

【入選】「給食のありがたみ」

桜町小学校 細井 智美

私は学校の給食の時間はいつも笑っているような気がします。とても楽しくて、家にいる気分になります。だから給食の時間は学校の楽しい所の一つです。給食を食べると今日のつかれが気にならなくなるくらいリラックスをすることができません。それに、毎日この給食を食べていてもあきません。それはなぜかと考えてみると、同じ料理が二日続けてでることはなく毎日色とりどりの食材で作っているからだと思いました。それに毎日栄養満点の料理で、食材は安城やまわりの市でとれたものが多く使われています。だから給食は家の料理とはちがうけれど給食は給食で、またちがうおいしさなのかなと思います。なので、朝と昼の主食が同じでも給食はとてもおいしく感じられます。

私は去年もおとしも一度も学校を休んでいません。それは栄養満点の給食を毎日食べているおかげかもしれません。だから給食のメニューを考えてくれる人、作ってくれる人、そして給食を運んでくれる人にありがとうと感謝を伝えたいです。特にメニューを考えてくれる人は体に良いかみかみメニューや季節に合った野菜、デザ

ートを出してくれて、本当にうれしいです。これからも季節に合った料理やデザートをぜひ考えてほしいです。そして給食を作ってくれる人は学校全員の分を毎日作ってくれるのでとても大変だと思います。本当にありがたいです。それに私たちが勉強している間も給食の準備をしているので、毎日大変なのにすごいなと思います。

私はよく考えてみると、この手間ひまかけて作った給食を毎日食べられるのはお母さんお父さんのおかげだと思います。お父さんが毎日一生けん命に働いてもらったお金で給食を毎日食べれていると思うと本当に感謝でいっぱいです。

私はこの作文を書いて給食はいろいろな人の協力がないと作られないんだと改めて思いました。給食のメニューを考える人、給食の食材を作ってくれる人、給食を運んでくれる人、そしてお母さん、お父さんがいないと給食はできあがらないけれど、これまで一年生から一度も給食がなかったことはありません。つまり給食を作ってくれる人全員が一日も休まずに作ってくれたということです。私はこれから、一日の給食を、給食を作るのに協力してくれる人全員に感謝しながら食べていきたいです。